

2026 年
GOOD FACTORY 賞

応募要項

一次案内

一般社団法人日本能率協会
GOOD FACTORY 賞事務局

目 次

1. 応募資格	4
2. 表彰対象	4
3. 賞の種類	4
4. 審査機関	4
5. 審査方法	4
6. 審査の要件	5
7. 受賞後の公表	6
8. 特典	6
9. 応募の条件	7
10. 今後の予定	7
11. 備考	7
12. 応募先（事務局）	7
13. これまでの受賞企業	8

審査委員会・・・・・・・・・・別添-1

正式応募申込書

※ワードファイルを HP よりダウンロードして作成してください。

GOOD FACTORY 賞とは

今、多くの日本製造業が中国・アジア新興国にもものづくりの拠点を展開し、日夜現地の方々の協力のもと、ものづくりに励んでいます。さらに、日本国内においては、厳しい事業環境の中、製造現場を何とか日本に残そうとして、他社、他国に負けないものづくりを追求しています。

このような背景から、日本能率協会は日本製造業のものづくり力強化へ向けた様々な取り組みを推進してまいりました。

日本能率協会では2011年にアジアワイドで優良工場を表彰する制度としてGOOD FACTORY 賞を設けました。この表彰制度は、国内外を問わず各地域で工場の生産性向上、品質向上をはじめ様々な体質革新活動へ取り組まれている事例に着目し、そのプロセスや成功要因、現場の知恵、働く方々の意識改革、社会的貢献などの内容を幅広く取り上げ、その成果を日本製造業の範として公に明らかにしようとするものです。

GOOD FACTORY 賞とは、これらの総称です。

GOOD FACTORY 賞は、下記の①から④のいずれかを表彰する **GOOD FACTORY 部門賞**および **GOOD FACTORY 大賞**の2部門で構成されており、貴社の工場・事業所において上述のいずれか1つでも優れており、アピールできる要素があれば応募できるのが大きな特徴です。

・ **GOODFACTORY 部門賞**

- ①ものづくりプロセス革新賞
- ②ものづくり人材育成貢献賞
- ③サステナブルファクトリー賞
- ④ファクトリーマネジメント賞

・ **GOOD FACTORY 大賞**

上記の **GOOD FACTORY 大賞**は2026年から新たに設けられたもので、これまで①～④のカテゴリーで受賞した工場・事業所が、受賞時の活動をその後も持続的に推進し、その結果、一つの企業文化へと発展させてきたという総合的な活動を表彰するものです。

この機会に是非、多くの工場・事業所の積極的な応募をお待ちしております。

備考：

- 1 2011年～2025年の14年間で、すでに **77工場・事業所**がGOOD FACTORY 賞を受賞されています。(8～12ページ参照)
2. 「GOOD FACTORY 賞」は、特許庁の商標登録です。
3. 表彰制度の運用は、日本能率協会の公益目的支出計画にのっとって運用されています。

1. 応募資格

日本国内にある工場・事業所ならびにアジア全地域に進出している日系現地工場・事業所。

2. 表彰対象

応募されたテーマにおいてトップと従業員が一体となった活動により、工場・事業所が総合的に改善・強化された、あるいは地域・従業員との強い結びつきができたなど、グローバルな視点で日本のものづくりの優秀なモデルとして他社の範となる工場・事業所。

3. 賞の種類

・GOOD FACTORY 部門賞

① ものづくりプロセス革新賞

IE改善、ITの適用、DX、品質保証、工程改善、SCM改善、JIT、調達革新、物流革新、自動化など、工場・事業所の“ものづくりプロセス”が総合的に改善・強化されている内容を表彰します。

②ものづくり人材育成貢献賞

全員参加の改善活動、技能伝承、能力開発への取り組み、従業員育成、など質の高いものづくりを実現するための“人材育成”に組織的に取り組まれている内容を表彰します。

③サステナブルファクトリー賞

環境対応、省エネ、循環型システム、福利厚生、ダイバーシティへの取り組み、地域社会との共生およびBCPなど、グローバルなものづくりで今後最も重要とされる持続可能性のある活動を展開している内容を表彰します。

※この賞は、従来存在した「ものづくり CSR 賞」を発展拡大した位置づけとなります。

④ファクトリーマネジメント賞

上記の①、②および③においてバランスのとれたマネジメントの仕組みとその運営”が実現されており、しかもトップから従業員までが一体となって工場・事業所のマネジメントを高いレベルで達成している、といった内容を表彰します。

・GOOD FACTORY 大賞

これまで①から④のいずれか、あるいは複数の種類を受賞された工場・事業所が、受賞時の活動を基とした取り組みを持続的に進化・発展させ、さらに現在もその活動を通じて独自の企業文化・風土を創造しているという仕組みとマネジメントを表彰します。本賞については過去にGOODFACTORY賞を受賞してから、概ね5年以上経過した工場・事業所を対象とします。

4. 審査機関

学識経験者と専門家（コンサルタント）で構成される「GOOD FACTORY 賞 審査委員会」（別添-1 審査委員一覧 参照）

5. 審査方法

(1) 一次審査（書類審査）

フォーマットに従って提出された書類による審査

＜フォーマットの主な内容＞

a.工場・事業所の特徴 b.活動を進める仕組み c.活動を進めた背景
d.活動の実施内容 e.活動の成果 f.今後の方向 g.まとめ

(2) 二次審査（現地審査）

一次審査を通過した工場・事業所については、現地での確認を行います。現地審査の日程については、応募工場・事業所の希望日程と審査委員の日程を調整のうえ、決定いたします。

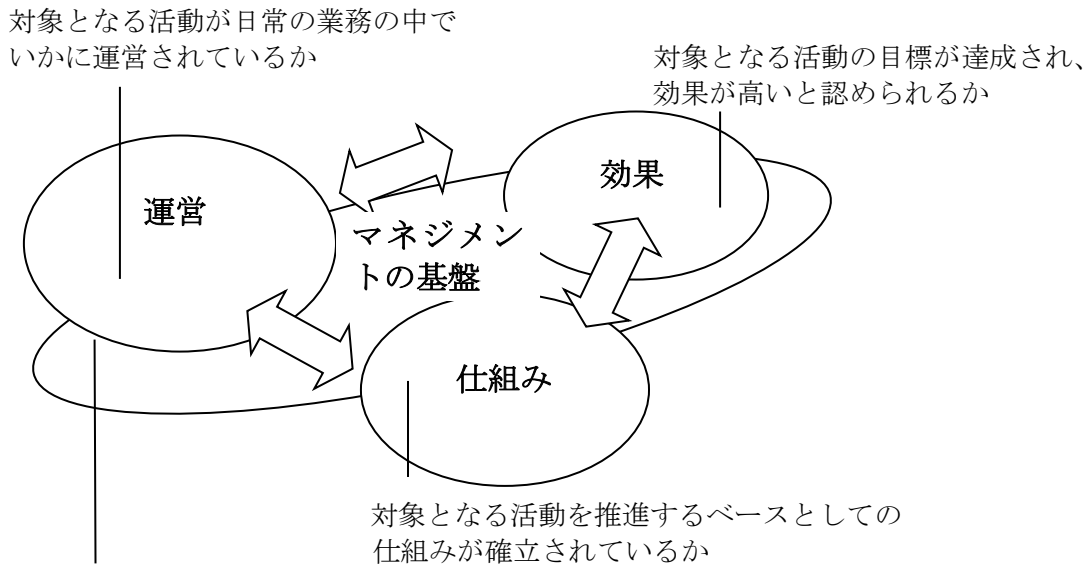
(3) 最終審査（最終判定）

二次審査の結果を踏まえて、審査委員会が最終判定します。

6. 審査の要件（4つの審査視点）

審査の視点は4つ、すなわち「仕組み」、「運営」、「効果」そしてそれを支える「マネジメントの基盤」です。工場・事業所の評価には様々な指標と尺度がありますが、とりわけ審査では対象となる活動を推進するための仕組みが確立されているか否かを重視しています。どのような理由でどんなプロセスを経て活動を進めてきたのか、また見出した独自の優れた仕組みが組織にしっかりとビルトインされているのか、さらにはそれがトップや従業員が代わっても持続可能で、そして何よりその活動が他社にとって参照価値のあるのかどうか重要な審査ポイントです。これについては部門賞および大賞いずれの場合も該当します。

一次の書類審査では以下のポイントそれぞれが丁寧に言及されているか否かが審査の要点になることから、作成に際しては十分に留意する必要があります。



対象となる活動を積極的に推進する
マネジメント基盤が形成され展開されているか

(1) 仕組み・・・対象となる活動を推進するベースとしての仕組みが確立されている

①活動計画化の仕組み

- 1) 事業所のビジョンを明確化する活動計画作成の仕組みがある
- 2) 的確な活動計画を策定する組織的仕組みがある

②活動実践の仕組み

- 1) 活動の内容・方法や期待値等の情報を関係者に事前に十分提供している
- 2) 職場管理者が、活動のなかで部下の活動を支援する仕組みがある

③活動を評価する仕組み

- 1) 活動の推進過程で関係者の意見を把握し評価する仕組みがある
- 2) 活動の実施目的の達成度を、実施責任者が客観的に把握している
- 3) 活動の評価を計画にフィードバックする仕組みがある

(2) 運営・・・対象となる活動が日常の業務の中で運営されている

事業所戦略と対象となる活動が密接に関連して推進されている

①事業所ビジョンの明確化と対象となる活動の連動

- 1) 事業所のビジョン・事業計画が明示されている
- 2) 事業所のビジョンが事業所内に浸透し、かつ共感をもたれている

②戦略と実践

- 1) 部署別・階層別の活動の重点が把握されている
- 2) 活動が職場の問題解決に反映されている

(3) 効果・・・対象となる活動の目標が達成され、効果が高いと認められる

①活動の成果

- 1) 活動の成果が工場・事業所全体に波及し、工場・事業所の経営指標に反映されている
- 2) 工場・事業所の体質と価値観が新しい世代にも共有・継承されている

②職場高度化の成果

- 1) 効果測定の結果、職場の高度化への成果が出ている
- 2) 革新活動の成果を職場で報告・公開している

(4) マネジメントの基盤 ……対象となる活動を積極的に推進するマネジメントの基盤が形成され展開されている

①活動に対する事業所トップ・幹部の姿勢

- 1) 工場・事業所トップ・幹部が、本活動を通して工場・事業所を変えていくことにより、変革を柔軟に受け入れる風土づくりができると考えている
- 2) 工場・事業所トップ・幹部が、中・長期的視点で継続的な活動展開につながることを意識づけている、またその仕組みがある
- 3) 工場・事業所トップ・幹部が常に高い目標を掲げている

②活動に対する社員の意識・行動

- 1) 社員が意欲的に自己の活動目標を立てている
- 2) 社員が自己の行動を全体成果に活かそうと行動している

以上が審査の要点です。重要なことは「このような成果を上げた」、「これだけ実績が上がった」という単なる結果の羅列では不十分ということです。記載すべきことは、優れた活動をしている他社の事例を学ぶときに最も重要な「知りたいことがそこにあるか否か」ということです。

書類審査の次は二次審査（現地審査）があります。GOOD FACTORY 賞では多様な背景を持つ審査員それぞれが独自の視点で審査することが大きな特徴であり、書面審査会では議論の分かれることがしばしばあります。そこで重要となるのが現地での審査です。トップの考えやマネジメントに触れるだけでなく、現場を支える従業員、設備そして環境までしっかり観察して問う、この結果が審査委員会での最終審査で議論されます。

7. 受賞後の公表

(1) 表彰式および事例発表

- ①表彰式は、東京で行います。（2026年3月を予定）
表彰式には、工場・事業所代表者1名、および当該活動の実施責任者1名の計2名以上の出席が必要です。
- ②表彰式の翌日に受賞企業代表者による受賞記念講演会を開催します。講演時間は、約50分の予定です。この受賞記念講演会は、広く外部に公開します。
- ③講演会については、小会HP及びパンフレットの紙面で公開いたします。
そのための受賞各社ロゴ提供のご協力をお願いいたします。

(2) 新聞・雑誌への受賞記事掲載

- ①受賞工場・事業所の概要は、記者発表会で広く公表します。
合わせて、日本経済新聞・全国版（2026年1月下旬～2月上旬）の朝刊に受賞企業の記事広告を掲載します。（1面の1/3）
なお、この記事広告の製作にあたっては、受賞各社にロゴの提供など、版下作成のご協力をお願いいたします。
- ②工場・事務所の所在地域のメディアにニュースリリースを提供し、地域の人々にも広く受賞を公表いたします。

(3) GOOD FACTORY 賞のホームページで受賞記事を紹介します。

[GOOD FACTORY 賞](#) [検索](#)

8. 特典

受賞の記念盾と表彰状（日本文・英文）を贈呈します。

9. 応募の条件（必ずご確認ください）

- (1) 審査に関わる費用は、現地審査も含めてすべて JMA が負担いたします。
- (2) 受賞された場合、東京で行われる受賞式に必ずご出席いただきます。
その際の交通費、宿泊費等につきましては、各社にてご負担いただきます。
- (3) 受賞された場合、東京での受賞記念講演会で、受賞内容についてご発表いただきます。
- (4) 受賞された場合、新聞各社および JMA 広報の取材等に応じていただくことがございます。
- (5) 受賞された場合、自社の広告、パンフレット等に GOOD FACTORY 賞のロゴ等を使用されるときは、事前に必ず事務局の許可を得てください。

10. 今後の予定

- (1) 応募の締め切り 2025年 4月21日(月) (メール添付にて事務局必着)
- (2) 審査書類の締め切り 2025年 6月13日(金) (メール添付にて事務局必着)
- (3) 第一次審査(書類審査) 7月下旬
- (4) 第二次審査(現地審査) 8月上旬～11月上旬
 - ① 1社につき、現地審査は正味1日(原則9:30～16:45)。
 - ② 日程については、別途調整させていただきます。
 - ③ 審査委員2名、事務局1名(JMA職員)
- (5) 最終判定 12月上旬
- (6) 事例講演資料の準備 12月上旬～翌年1月中旬
- (7) 新聞記事広告の準備 12月上旬～翌年1月中旬
- (8) 表彰式・懇親会・事例講演会のご案内2026年1月末
- (9) 新聞記事広告 1月下旬～2月上旬 日本経済新聞(予定)
- (10) 表彰式 3月上旬 17:30～18:30(予定)
- (11) 懇親会 3月上旬 18:30～20:00(〃)
- (12) 受賞記念講演会 3月上旬 10:00～17:00(〃)
いずれも 東京都内会場(〃)

11. 備考

- (1) 応募された工場・事業所については一切公表しません。(受賞された場合のみ公表)
- (2) 受賞工場・事業所の受賞理由を公表します。
- (3) 受賞の有無に関わらず、応募工場・事業所には、評価の視点とこれから取り組むべき課題を「審査所見」にまとめ提供します。
- (4) 応募申込書、審査書類などの締切日は厳守願います。合否判定の「参考」となります。

12. 応募先(事務局)

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター
GOOD FACTORY賞 事務局 松本 亜砂子
〒105-8522 東京都港区 芝公園 3-1-22
TEL: 03-3434-1410 FAX: 03-3434-3593
E-mail goodfactory-award@jma.or.jp

13. これまでの受賞企業

2025年(第13回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
花王 川崎工場	ものづくりプロセス革新賞	日本 (神奈川県)
東芝産業機器アジア社 Toshiba Industrial Products Asia	ファクトリーマネジメント賞	ベトナム (ホーチミン)
BASF ジャパン 六呂見事業所	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重県)
パナソニックホールディングス 杭州松下家用电器有限公司	ファクトリーマネジメント賞	中国 (浙江省)
フジテック ビッグステップ製作所	ファクトリーマネジメント賞	日本 (兵庫県)

2024年(第12回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
旭化成 ライフイノベーション事業本部 ロイカ事業部 ロイカ工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (滋賀県)
花王 鹿島工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (茨城県)
東芝 東芝産業機器システム 三重事業所	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重県)
トヨタ自動車 TOYOTA MOTOR VIETNAM	ファクトリーマネジメント賞	ベトナム (ハノイ)
日産自動車 栃木工場	ものづくりプロセス革新賞	日本 (栃木県)
富士フイルムマニュファクチャリング 竹松事業所	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (神奈川県)
マツダ 本社工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (広島県)
リコー リコー環境事業開発センター	ファクトリーマネジメント賞	日本 (静岡県)
リコーインダストリー 東北事業所	ファクトリーマネジメント賞	日本 (宮城県)

2023年(第11回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
花王 Kao Industrial (Thailand)	ものづくり人材育成貢献賞	タイ (チョンブリー県)
ダイキン工業 DAIKIN COMPRESSOR INDUSTRIES	ものづくりプロセス革新賞	タイ (ラヨーン県)
東芝 豊前東芝エレクトロニクス	ファクトリーマネジメント賞	日本 (福岡県)
トヨタ自動車 SIAM TOYOTA MANUFACTURING	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー県)
リコー 沼津事業所 CMC 事業本部	ファクトリーマネジメント賞	日本 (静岡県)

2022年（第10回）

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
オリンパス 青森オリンパス	ファクトリーマネジメント賞	日本 (青森県)
花王 栃木工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (栃木県)
JUKI 大田原工場	ものづくりプロセス革新賞	日本 (栃木県)
東レ 岐阜工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (岐阜県)

2019年（第9回）

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
オムロン 欧姆龙(上海)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
オリンパス 白河オリンパス	ファクトリーマネジメント賞	日本 (福島県)
花王 上海花王 上海工場	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
コニカミノルタ 柯尼卡美能达商用科技(東莞)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (広東省東莞市)
ダイキン工業 ※4社共同応募 堺・滋賀・淀川・鹿島製作所	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (大阪府)
デンソー PT. DENSO INDONESIA	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (西ジャワ州 ブカシ県)
東レ 東麗酒伊織染(南通)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (江蘇省南通市)

2018年（第8回）

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
NEC NECプラットフォームズ 掛川事業所	ものづくりプロセス革新賞	日本 (静岡県)
オークマ 本社・DS2 部品工場	ものづくりプロセス革新賞	日本 (愛知県)
コマツ 大阪工場・生産技術開発センタ	ものづくりプロセス革新賞	日本 (大阪府)
東レ Penfibre Sdn.Berhad.(PFR)Film Factory	ファクトリーマネジメント賞	マレーシア (ペナン)
ブラザー工業 兄弟機械(西安)	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (西安)

2017年(第7回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
NEC NECプラットフォームズ 甲府事業所	ものづくりプロセス革新賞	日本 (山梨県)
花王 花王 和歌山工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (和歌山県)
ダイキン工業 大金機電設備(蘇州)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (蘇州)
トヨタ紡織 トヨタ紡織ハノイ	ものづくりプロセス革新賞	ベトナム (ハノイ)
パナソニック エコソリューションズ社 ライティング事業部 新潟工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (新潟県)
富士ゼロックス 富士ゼロックスマニュファクチャリング 鈴鹿事業所	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重県)

2016年(第6回)

受賞企業名(社名五十音順)	受賞部門	所在地
東レ Thai Toray Synthetics Ayutthaya Factory	ものづくりプロセス革新賞	タイ (アユタヤ)
NEC NEC ネットワークプロダクツ	ファクトリーマネジメント賞	日本 (福島県)
オリンパス 長野オリンパス	ファクトリーマネジメント賞	日本 (長野県)
トヨタ自動車 PT.Toyota Motor Mfg. Indonesia Karawang Plant (TMMIN)	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (カラワン)
パナソニック 無錫松下冷機	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (無錫)
パナソニック パナソニックエコシステムズ 春日井工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (愛知県)

2015年(第5回)

受賞企業名(社名五十音順)	受賞部門	所在地
コマツ コマツ 粟津工場	ものづくり CSR 貢献賞	日本 (石川県)
ダイキン工業 DAIKIN INDUSTRIES(THAILAND)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
デンソー DENSO(THAILAND)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
東芝 東芝キヤリア 富士工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (静岡県)
東レ Penfabric Sdn. Berhad (PAB)	ファクトリーマネジメント賞	マレーシア (ペナン)
トヨタ紡織 広州桜泰汽車飾件	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
日産自動車 SNN TOOLS & DIES	ファクトリーマネジメント賞	タイ (サムトラカーン)
日立オートモティブシステムズ 日立自動車系統(蘇州)	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (蘇州)

2014年(第4回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
ダイキン工業 大金空調(上海)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
東レ 東麗塑料(深圳)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (深圳)
NEC/NEC プラットフォーム* NEC Platforms Thai	ものづくり人材育成貢献賞	タイ (パツムタニ)
日立金属 Hitachi Metals (Thailand)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (アユタヤ)
ミスミグループ本社 駿河生産プラットフォーム	ものづくりプロセス革新賞	日本 (静岡県)

2013年(第3回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
味の素 タイ味の素社 カンペンペット事業所	ものづくり CSR 貢献賞	タイ (カンペンペット)
小島プレス工業 本社・下市場工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (愛知県)
東芝 セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重県)
東芝 東芝情報機器杭州社 (TIH)	ものづくりプロセス革新賞	中国 (杭州)
トヨタ自動車 Toyota Kirloskar Motor Private (TKM)	ものづくり人材育成貢献賞	インド (バンガロール)
三菱電機 Siam Compressor Industry (SCI)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)

2012年(第2回)

受賞企業名(社名五十音順)	受賞部門	所在地
東レ P.T. Easterntex	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (スラバヤ)
東レ 東麗合成繊維(南通)	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (南通)
トヨタ紡織 Toyota Boshoku Gateway(Thailand)	ものづくりプロセス革新賞	タイ (ゲートウェイ)
日産自動車 東風日産乗用車 広州風神汽車	ファクトリーマネジメント賞	中国 (広州)
パナソニック 広州松下空調器	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
富士通 (*2社の共同応募) 島根富士通 富士通アイソテック	ものづくり CSR 貢献賞	日本(島根県) 日本(福島県)

2011年(第1回)

受賞企業名(社名五十音順)	受賞部門	所在地
オリンパス 会津オリンパス	ものづくりプロセス革新賞	日本 (福島県)
東芝 東芝情報機器フィリピン社 (Toshiba Information Equipment (Phils.) (TIP))	ファクトリーマネジメント賞	フィリピン (ラグナ)
トヨタ自動車(※2社の共同応募) Toyota Motor Asia Pacific Eng& Mfg. (TMAP-EM) Toyota Motor Thailand (TMT)	ものづくり人材育成貢献賞	タイ (サムプラカーン)
富士ゼロックス Fuji Xerox of Shenzhen	ものづくり CSR 貢献賞	中国 (深圳)
パナソニック 広州松下空調器	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
ヤマハ P.T. Yamaha Music Mfg. Asia (YMMA)	ものづくり人材育成貢献賞	インドネシア (ペカシ)